

令和6年度愛知県立芸術大学音楽学部一般選抜
試験内容及び試験曲

1. 専攻別実技試験

作曲専攻 作曲コース

- (1) 4声体による和声課題（バス課題、ソプラノ課題、バス・ソプラノ混合課題のいずれか1題が課せられます）。
……………所要時間：3時間
- (2) 器楽曲作曲
与えられたモチーフを用い、器楽曲を作曲してください。
なお、長さ、形式、楽器編成は自由。
……………所要時間：7時間。うち前半3時間（ピアノなし）／後半4時間（ピアノあり）
- (3) 口述試験（面接を含む）
試験で書いた答案についての質疑応答。

作曲専攻 音楽学コース

- (1) 音楽学に関する基礎的試験（音楽学の学習に必要な理論的な基礎的能力を問う試験）。
……………所要時間：論述2時間及び口述試問所要時間
- (2) 外国語（英、独、仏から1科目）。解釈の能力を問う試験。……………所要時間：1時間

声楽専攻（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス）

- 課題曲 1 曲と自由曲 1 曲を暗譜で演奏してください。

課題曲：次にあげられた課題選択曲のうち、必ず 2 つ以上のグループから、合計 4 曲を選び、
曲目提出用紙に記入し入学願書の提出書類とともに提出してください。うち 1 曲を当日
指定します。原則として、曲目提出後の変更は認めません。

a. 『イタリア歌曲』グループ

1.	G. Bononcini	Per la gloria d'adorarvi	(D, Es, F, G)
2.	A. Cesti	Intorno all'idol mio	(c, d, e, f)
3.	F. Durante	Vergin, tutto amor	(h, c, d)
4.	F. Gasparini	Lasciar d'amarti	(d, e, g, f)
5.	T. Giordani [伝 G. Giordani]	Caro mio ben	(C, Des, Es, F)
6.	C. W. Gluck	O del mio dolce ardor	(c, d, e, fis, g)
※下記注意事項を参照のこと			
7.	L. Mancina [伝 S. Rosa]	Star vicino	(E, G, A, B)
8.	A. Scarlatti	Già il sole dal Gange	(F, G, As, B)
9.	A. Scarlatti	Se Florindo è fedele	(G, As, B)
10.	A. Scarlatti	Se tu della mia morte	(e, f, g)

b. 『ドイツ歌曲』グループ

11.	J. Brahms	Dein blaues Auge	(D, Es)
12.	F. Mendelssohn Bartholdy	Auf Flügeln des Gesanges	(F, G, As) 第 1 節及び第 3 節
13.	F. Schubert	An die Musik	(B, C, D, E)
14.	F. Schubert	Seligkeit	(C, D, E) 第 1 節及び第 2 節
15.	R. Schumann	Du bist wie eine Blume	(E, Ges, As)

c. 『日本歌曲』グループ

16.	小松 耕輔	母	(F, G, As, A)
17.	瀧 廉太郎	荒城の月	(c, d) 第 1 節及び第 2 節
18.	中田 喜直	むこうむこう	(F)
19.	信時 潔	北秋の（「沙羅」より）	(Des, D)
20.	山田 耕筈	かやの木山の	(C, D)

【注意事項】

- 曲目に記入してある各調の楽譜は、本学に用意してあります。
大文字は長調、小文字は短調を示します。
- 『イタリア歌曲』については、基本的に全音楽譜出版社版「イタリア歌曲集」（畑中良輔 編）
を使用します。
- 6. O del mio dolce ardor は全音楽譜出版社「イタリア歌曲集 1」31A を演奏してください。
- 時間の都合により、演奏をカットすることがあります。

（次ページにつづく）

自由曲：課題曲として提出した4曲以外のもの1曲を提出。（前掲の課題選択曲の中から提出する事も可）原則として、曲目提出後の変更は認めません。

所要時間3分以上の曲については曲の途中でカットします。

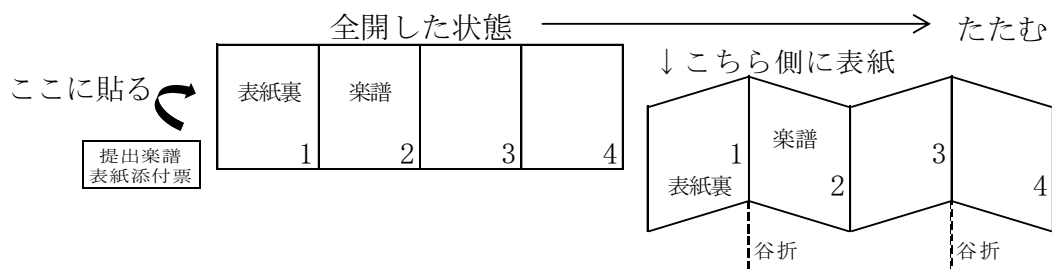
歌曲（一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む）の場合、いずれの調で演奏しても良いが、オペラ、オラトリオのアリアについては原調とします。歌詞は原則として原語とします。

- F. Wüllner: Chorübungen I No. 37 a) ～No. 77 d)の中から1曲を試験の際に指定します。
大阪開成館『全訳コールユーブンゲン』（信時潔 訳）を使用します。

提出楽譜についての注意：

- 1) 自由曲伴奏楽譜は、各自必ず提出してください。
- 2) 課題曲においても本学に用意してある調以外の調で歌う場合は、自分の選んだ調の伴奏楽譜を必ず「入学願書」に添えて提出してください。
- 3) 提出楽譜は、1頁をすべてA4の大きさに統一し、**屏風状**に作成してください。
提出楽譜には、伴奏部に添えて必ず歌唱部と歌詞を記入してください。
手書きの場合は、丁寧かつ正確に清書してください。（鉛筆書きの場合は、鮮明にコピーしたものを提出してください。）
- 4) 提出楽譜には、1曲ごとにA4の表紙を付け、必要事項（氏名、声種も忘れずに）を記入した「提出楽譜表紙添付票」を表紙左上隅に貼付し、2ページ以降が楽譜となるようにしてください。
- 5) 「提出楽譜表紙添付票」が不足する場合は、コピーして使用してください。

以上の規定に反したものは、原則として受け付けません。



課題曲：

- ① J. S. Bach: 平均律クラヴィーア曲集第1巻、または第2巻より任意の1曲
- ② F. Chopin: 練習曲集 Op. 10 または Op. 25 より任意の1曲
- ③ L. v. Beethoven: ピアノ・ソナタより任意の1曲（全楽章）
- ④ 1950年までに作曲された任意のピアノ独奏作品（複数曲も可）※

※出版された作品に限ります。

※①②③で選択した曲と内部奏法等の特殊奏法を用いた作品を除きます。

※ソナタや組曲からの楽章の抜粋は可。変奏曲の抜粋は認めません。

第1次試験

第1試験室で①と②を演奏してください。①と②の演奏順は自由です。ただし、①はプレリュードから演奏してください。その後、第2試験室へ移動して③のソナタの第2楽章以降を演奏してください。ただし、Op. 27-1、Op. 27-2、Op. 101、Op. 109を選択した場合は、第3楽章以降を演奏してください。

第2次試験

③のソナタの第1楽章を演奏してください。ただし、Op. 27-1、Op. 27-2、Op. 101、Op. 109を選択した場合は、第1楽章と第2楽章を演奏してください。
その後、④を演奏してください。

第1・2次試験 共通

- ・全曲暗譜で演奏してください。
- ・繰り返しなしで演奏してください。（ただし24小節以内の繰り返しは自由）
- ・実技試験進行の都合により演奏を途中でカット、または演奏箇所を指定する場合があります。
- ・曲目提出用紙は、入学願書の提出書類とともに提出してください。原則として、曲目提出後の変更は認めません。

器楽専攻 弦楽器コース

器楽専攻弦楽器コース共通事項

- ・ 繰り返しなし、暗譜で演奏してください。
- ・ 課題曲、自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- ・ 時間の都合により演奏をカットする場合があります。

器楽専攻弦楽器コース提出用紙について（入学願書の提出書類とともに提出してください。）

- ・ 提出用紙に、課題曲 **b)**（コントラバスとハープを除く。）及び自由曲の作曲者名、曲名を **欧文**で記入してください。
- ・ ヴァイオリン受験者は、第2志望（ヴィオラ）の有無にも○を付けてください。
- ・ コントラバス受験者は、楽器借用希望の有無に○を付けてください。
- ・ 原則として、曲目提出後の変更は認めません。

ヴァイオリン

（1）課題曲

- a) Carl Flesch: Scale System より 任意の調性

No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節

リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

- b) 次の4つの練習曲集、もしくは同等以上の練習曲集より任意の1曲を選択し演奏してください。

J. Dont: 24 Études et Caprices Op. 35

P. Rode: 24 Caprices

P. Gaviniès: 24 Etüden (Matinées)

N. Paganini: 24 Capricci Op. 1

（2）自由曲

古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第1楽章、カデンツァを含みます。

ヴィオラ

（1）課題曲

- a) Carl Flesch: Scale System より 任意の調性

No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節

リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

- b) B. Campagnoli: 41 Caprices もしくは J. Palaschko: 20 Studies Op. 36 より任意の1曲

（2）自由曲

古典派の任意のヴィオラ協奏曲の第1楽章、カデンツァを含みます。

チェロ

(1) 課題曲

a) J. Loeb: Gammes et arpèges より 任意の調性

4 オクターブの音階、4 オクターブの分散3度を、4 つずつのスラーで。

4 オクターブのアルペジオを、3 つずつのスラーで。

2 オクターブの3度重音、2 オクターブの6度重音を、スラー無しのレガートで。

b) J. L. Duport: The 21 Famous Exercises (Etudes) より任意の1曲

(2) 自由曲

古典派以降のチェロ協奏曲(カデンツァを含む)もしくは古典派のチェロソナタより任意の楽章。

コントラバス

(1) (2) 共にオーケストラチューニングで演奏してください。

(1) 課題曲

a) 音階 G-dur 2 オクターブ 譜例参照



b) F. Simandl: 30 Etudes for the String Bass より No. 17 Tempo di Polacca in E minor

(2) 任意の自由曲

ハープ

ハープ受験者は、本学で用意した楽器を使用してください。楽器の持ち込みは不可です。

(1) 課題曲

R. N. C. Bochsa: Célèbres Etudes Cinquante Etudes Op. 34 より No. 5 及び No. 10

(2) 任意の自由曲

器楽専攻 管打楽器コース

器楽専攻管打楽器コース共通事項

- ・課題曲等について、暗譜の要否の記載がない場合は、暗譜の必要はありません。
- ・第2次試験の伴奏者については、本学で用意します。演奏の直前に伴奏者と30秒程度の打ち合わせができます。
- ・フルート受験者の第1次試験及び第2次試験で選択した曲の番号及びアルファベット、ファゴット（バスーン）、トロンボーン及びバストロンボーン受験者の第2次試験で選択した曲の番号は、受験票および受験者写真票の「区分」欄に、楽器種別とともに記入してください。

（例：フルート①A） （例：ファゴット（バスーン）①）

原則として、曲目提出後の変更は認めません。

フルート

第1次試験

（1）音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。暗譜で演奏してください。

（和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。）

（2）課題曲

- a) 下記の5曲より当日指定します。（繰り返しなし、版の指定はしません）

J. Andersen: 24 Studies Op. 21 より No. 6、10、13、20、24

- b) 下記の5曲より任意の1曲を選択し、演奏してください。①以外の曲は、版の指定はしません。

① E. Bozza: Image (Leduc 版) 冒頭～2ページ3段目 Lento 後のフェルマータまで

② A. Honegger: Danse de la Chèvre 冒頭～48小節目まで

③ J. Ibert: Piece pour Flute Seule 冒頭～59小節1拍目まで

④ S. Karg-Elert: 30 Caprices Op. 107 より Chaconne 冒頭～Var. XIII 最後まで

⑤ S. Karg-Elert: Sonata Appassionata fis-moll Op. 140 冒頭～51小節目まで

第2次試験

下記の2曲より任意の1曲を選択し、演奏してください。

① W. A. Mozart: Concerto in G major K. 313 より第1、第2楽章

② W. A. Mozart: Concerto in D major K. 314 より第1、第2楽章

演奏箇所は当日指定します。（共にカデンツァなし、版の指定はしません）

オーボエ

第1次試験

(1) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。暗譜で演奏してください。

(和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。)

(2) 課題曲

W. Ferling: 48 Etudes より (版の指定はしません)

No. 21～No. 30 の中から当日指定します。

第2次試験

F. J. Haydn: Concerto (Breitkopf 版) より 第1楽章

クラリネット

第1次試験

(1) 音階

Rolf Eichler: Scales for Clarinet (国立音楽大学教育出版部) 全部の音階中、No. 1 の中から当日指定します。ただし、暗譜で演奏してください。

任意のアーティキュレーションで演奏してください。

(2) 課題曲

C. Rose: 32 Etudes より (Leduc 版)

No. 15～No. 28 の中から当日指定します (繰り返しなしで演奏してください)。

第2次試験

F. Krommer: Konzert für Klarinette und Orchester Es-dur Op. 36 より (版の指定はしません)

第1、第2楽章

ファゴット（バスーン）

第1次試験

（1）音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。暗譜で演奏してください。

（和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。）

（2）課題曲

Julius Weissenborn: 50 Bassoon Studies Op. 8 No. 2 より（Carl Fischer 版）

No. 1～No. 14 の中から当日指定します（繰り返しなしで演奏してください）。

第2次試験

下記の2曲より任意の1曲を選択し、演奏してください。

① A. Vivaldi: Concerto in D minor Op. 45-7 (F. VIII-5) (International Music Company 版) より

第2楽章（♩＝ca. 66）及び第3楽章（♩＝ca. 108）

② K. Stamitz: Konzert F-dur für Fagott und Orchester (Sikorski 版) より第1楽章

サクソフォーン

第1次試験

（1）音階

サクソフォーンのためのトレーニングブック 須川展也 編（音楽之友社）より

①を全調より、当日指定します。

テンポは♩＝100 とします。

アーティキュレーションは、スラーおよびスタッカートとし、当日指定します。

暗譜で演奏してください。

（2）課題曲

W. Ferling: 48 Études (Leduc 版) より

No. 1、2、5、6、13、14、19、20、27、28、31、32、35、36 の中から当日指定します。

第2次試験

A. Glazounov: Concerto en Mi♭ Op. 109 (Leduc 版) より 冒頭から練習番号16まで

ホルン

第1次試験

(1) 音階

譜例の形を暗譜で演奏してください。すべての長調、短調の中から当日指定します。

短調は和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。

譜例



(2) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Selected Studies for French Horn (版の指定はしません)

No. 13、25、28 より2曲当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。

Low F、B♭のフルダブルホルンを使用してください。

第2次試験

W. A. Mozart: Horn Concerto No. 3 K. 447 (Bärenreiter 版)

第1楽章 (カデンツァなし)

(注) ディスカントホルン (ハイ F 管等) を使用しないでください。

トランペット

第1次試験

(1) 音階

J. B. Arban: Complete Grand Method (ISM Collection 全音楽譜出版社)

65~81 ページの4、19、25、31、38、42、43、44、47、53、59、65、70~81の中より当日指定します。

(2) 課題曲

a) C. Colin: Advanced Lip Flexibilities Vol. 1 (CHARLES COLIN) より17番を

暗譜で演奏してください。

b) J. B. Arban: 14 Characteristic Etudes (ISE Collection) よりNo. 1、2、3の中から当日指定します。

第2次試験

C. Saint-Saëns: Fantasia en mi bémol (Leduc 版)

トロンボーン

第 1 次試験

(1) 音階

譜例の形を暗譜で演奏してください。すべての長調、短調の中から当日指定します。

短調は和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。

譜例



(2) 課題曲

a) C. Kopprasch: 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より

No. 15、26 は必須課題。

No. 11、13、14、20、23 より当日指定します。繰り返しなしで演奏してください。

b) J. Rochut: Melodious Etudes for Trombone Book1 (CARL FISCHER 版) より

No. 3、5、8 より当日指定します。

第 2 次試験

下記の選択課題曲 5 曲より 1 曲を選択し、演奏して下さい。演奏を途中でカットする場合があります。

- ① F. David: Concertino in E ♭ Op. 4 (Zimmermann 版) より第 1 楽章、第 2 楽章
- ② E. Sachse: Concertino in B ♭ (International Music Company 版)
- ③ E. Paudert: Berühmte Arie (Simrock 版)
- ④ E. Bozza: Ballade Op. 62 (Leduc 版)
- ⑤ J. G. Ropartz: Pièce en Mi-Bémol Mineur (Leduc 版)

バス・トロンボーン

第1次試験

(1) 音階

譜例の形を暗譜で演奏してください。すべての長調、短調の中から当日指定します。

短調は和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。

譜例



(2) 課題曲

a) C. Kopprasch: 60 Selected Studies for Trombone (全音楽譜出版社) より

No. (19)、26 は必須課題。

No. (7)、(8)、(14)、18、20、21 より当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。

※注 () の課題は1オクターブ下げて演奏してください。

b) A. Ostrander: Melodious Etudes for Bass Trombone (CARL FISCHER 版) より

No. 9、10、15 より当日指定します。

第2次試験

下記の選択課題曲5曲より1曲を選択し、演奏して下さい。演奏を途中でカットする場合があります。

- ① F. David: Concerto (Concertino) in B♭ for Bass Trombone (Zimmermann 版) より
第1楽章、第2楽章
- ② E. Sachse: Concerto (Concertino) in F for Bass Trombone (Zimmermann 版)
- ③ Alexey Lebedev: Concerto No. 1 (Hofmeister 版)
- ④ E. Bozza: New Orleans (Leduc 版)
- ⑤ G. Ph. Telemann: Sonata in F minor TWV41: f1 (International Music Company 版)

ユーフォニアム

第1次試験

(1) 音階

譜例の形を暗譜で演奏してください。すべての長調、短調の中から当日指定します。

短調は和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。

譜例



(2) 課題曲

a) J. Rochut: Melodious Etudes for Trombone (C. Fischer 版) Book 1 より

No. 5、8、10、16、18、20 (新版を使用してください)

b) C. Kopprasch: 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より No. 14、17、23、24、27、32

a)、b) より各1曲を当日指定します (繰り返しなしで演奏してください)。

第2次試験

A. Capuzzi: Andante and Rondo (from Concerto for D. Bass) (Hinrichsen 版 1474)

テューバ

第1次試験、第2次試験ともC管かB♭管を使用してください。

第1次試験

(1) 音階

譜例の形を暗譜で演奏してください。すべての長調、短調の中から当日指定します。

短調は和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。

譜例



(2) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Selected Studies for B♭ Tuba

(Robert King Music Company 版 Music for Brass No. 278) より

No. 15 は必須課題。

No. 6、7、13、18、19、21、26 より当日指定します。繰り返しなしで演奏してください。

第2次試験

W. S. Hartley: Suite for Unaccompanied Tuba (Elkan-Vogel 版)

パーカッション

※スネアドラムおよびスタンドは各自持参し、マリンバおよびティンパニは本学の楽器を使用してください。演奏を途中でカットすることがあります。

第1次試験

- ① All-American Drummer (Ludwig Masters 版) より

Wilcoxon's 132nd、133rd、134th、135th、136th、137th、138th の中から当日指定します。

- ② 深町 浩司：新しい打楽器メソッド（スタイルノート社）より 124 ページから 126 ページの「実践的なフレーズトレーニング 1」を、ティンパニで演奏してください。（フェルトマレットを使用、4 分音符＝ca. 72、mf）演奏箇所は当日指定します。

第2次試験

- ① オーケストラスタディ（ティンパニ、ピアノ伴奏付き）

G. F. Händel: Der Messias HWV56 より Hallelujah

バロックティンパニ用マレットまたは木のヘッドのマレットで演奏してください。

ピアノ伴奏譜は Breitkopf 版（Edition Breitkopf 2419）を使用します。

- ② Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule (HOFMEISTER 版) より 25 番

4 分音符＝ca. 72 で演奏してください。

- ③ マリンバで音階〔楽譜①〕を、暗譜で演奏してください。

すべての長調、短調の中から当日指定します。

2 オクターブ、往復、短調は 1 回目 和声短音階、2 回目 旋律短音階

〔楽譜①〕



マリンバ

※スネアドラムおよびスタンドは各自持参し、マリンバは本学の楽器を使用してください。
演奏を途中でカットすることがあります。

第1次試験

- ① マリンバで音階〔楽譜⑥〕を、暗譜で演奏してください。

すべての長調、短調の中から当日指定します。

3オクターブ、往復、短調は1回目と声短音階、2回目旋律短音階

〔楽譜⑥〕



- ② C. O. Musser: Etude Op. 11 No. 4 (版の指定はしません)

暗譜で演奏してください。

第2次試験

- ① Gordon Stout: Two Mexican Dances for Marimba より 1 番

繰り返しなしで演奏してください。

- ② C. O. Musser: Etude Op. 6 No. 8

- ③ スネアドラムで〔楽譜⑦〕を演奏してください。

①、②はいずれも暗譜で演奏してください。また、版の指定はしません。

〔楽譜⑦〕

2. 副 科 試 験

■ピ ア ノ（器楽専攻ピアノコースを除く）

音階: Hanon No. 39 より、

- ① C-Dur と a-moll
- ② G-Dur と e-moll
- ③ D-Dur と h-moll
- ④ A-Dur と fis-moll
- ⑤ F-Dur と d-moll
- ⑥ B-Dur と g-moll
- ⑦ Es-Dur と c-moll

上記①～⑦の中から当日指定します。暗譜で演奏してください。

（注）長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を1回弾いた後、続けて旋律的短音階を1回弾き、終止形をつけて終わる。

■新 曲 視 唱

歌詞をともしなわれない初見視唱1題

■聴 音

○作曲専攻作曲コース

- （1）単旋律課題1題
- （2）2声の旋律課題1題（上声は高音部記号により大譜表の上段に、下声は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）
- （3）4声の和声課題1題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻

- （1）単旋律課題1題
- （2）4声の和声課題1題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

■楽 典（作曲専攻作曲コースを除く）

音楽の学習に必要な基礎知識一般（所要時間：1時間）

令和6年度 愛知県立芸術大学音楽学部一般選抜試験問題

I 和声課題 (作曲専攻作曲コース)

次のバス課題を4声体で実施しなさい。

Andantino

mp

p

poco a poco cresc.

mf

f

allargando

II 器楽曲作曲 (作曲専攻作曲コース)

次の3つのモチーフのうち、いずれかを用いて器楽曲を作曲しなさい。

テンポ、強弱、音域、形式および楽器編成は自由。

☆注

☆注 音価は自由

Ⅲ 音楽学に関する基礎的試験（作曲専攻音楽学コース）

【試験問題】

問題 1

別紙は、消費者が商品に感じることの複雑な側面を描いたものである。
別紙を参考にして、「音楽と消費者」について感じ考えたことを論じてください。
（文字数の制限はありません。）

出典 牧野圭子『消費の美学』（勁草書房、2015年）

問題 2

「新たにうまれたす音（あるいは、うまれた音）」を任意に選び、それを明示したうえで、その音について、感じ考えたことを論じてください。
（文字数の制限はありません。）

※本学管理棟3階 入試課において閲覧できます。

閲覧時間 午前9時から午後5時まで

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

【出題の意図】

学部において音楽学研究をおこなうにあたって必要となる読解力、および論述力を備えているかを問う。

Ⅳ 外国語（作曲専攻音楽学コース）

問題 1

全文を訳してください。

出典 Gregor Kokorz. “Border, Transborder, and Unification: Music and Its Divergent Roles in the Nineteenth-Century Habsburg Territories.” In: *Crossing Central Europe: Continuities and Transformations, 1900 and 2000*. University of Toronto Press, 2017.

問題 2

全文を訳してください。

出典 J. Peter Burkholder and C. V. Palisca. *Norton Anthology of Western Music, Volume 3, the 20th Century and After*. 8th Edition, New York: W. W. Norton, 2019.

【出題の意図】

学部において音楽学研究をおこなうにあたって必要となる外国語の能力を備えているかを問う。

※外国語の試験問題は、本学管理棟3階入試課において閲覧できます。

閲覧時間 午前9時から午後5時まで

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

V 楽典（作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻）

【試験問題】

別紙の譜例 はエンリケ・グラナドス作曲、Zarabanda の一部です。この譜例をみて、以下の各問いに答えなさい。（なお譜例は試験問題に適するよう、改変している）

問1. **ア〜コ**の音程を答えなさい。（例：「短3」度。なお複音程は単音程として答えること）

問2. **ア〜コ**のうち、転回音程の関係にあたるものと異名同音程にあたるものをすべて答えなさい。（例：「エとオ」）

問3. **い〜ほ**の和音または分散和音について、その種類（例：「長三和音」）と転回形（例：「第1転回形」）を答えなさい。

問4. **X**の音を第5倍音とする基音を主音とする長音階の上行形を、アルト譜表上に主音から主音まで全音符で書きなさい。
必要な場合は臨時記号でなく、調号を書き加えること。基音のオクターブ変更は不可。

問5. 13小節目から14小節目まで、調号を使わず長3度下に移調して大譜表に書きなさい。途中で音部記号を変えないこと。
また、アーティキュレーションは記入しないこと。

問6. **Y**の音について、その振動数が442Hzの場合、完全五度上の振動数を答えなさい。音律は純正律として考えること。
小数点以下は切り捨てること。

問7. 29〜30小節の上声部メロディを階名で歌う場合、次のどれが適切か数字で答えなさい。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ①ミ・ファ・ミ・レ・ミ・ファ・ラ・レ | ②ファ・ソ・ファ・ミ・ファ・ソ・シ・ミ |
| ③ソ・ラ・ソ・ファ・ソ・ラ・ド・ファ | ④ラ・シ・ラ・ソ・ラ・シ・レ・ソ |

問8. 29小節目は転調している。主調からみた関係調で答えなさい。

問9. 譜例中、1小節内に主調の音階固有音のみを全て含む小節がある。その小節番号を一つ答えなさい。

問10. 29小節目の楽語2つについて、その意味を以下から選びなさい。

それまでより速く 同様に 歌うように 中庸の速さで より弱く
語るように それまでより遅く なめらかに きわめて遅く 簡単に

問11. 以下の文章について、①から⑦までに当てはまるものを以下の語群から選び、記号で答えなさい。

Zarabanda はグラナドスの出世作である（ ① ）舞曲集に収められている。サラバンドは古典舞曲の一種であり、数多くの作曲家が作曲した。例えば、（ ② ）出身で、（ ③ ）の時代を生きた作曲家、（ ④ ）によるピアノ曲集「ピアノのために」にも収められている。他には（ ⑤ ）出身で、バロック時代を生きた作曲家、（ ⑥ ）による組曲（ ⑦ ）もある。

- A. フランス B. イタリア C. ノルウェー D. スペイン E. ドイツ F. ヘンデル
G. ドビュッシー H. グリーク I. 古典派 J. ロマン派 K. 印象派 L. ハープシコード組曲第2集
M. フランス組曲 N. 組曲『ホルベアの時代から』

譜例

Zarabanda

Energico

Piano

f

② ③ ④ ⑤ ⑥

い

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

ろ は X

f *p*

⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱

イ ウ Y

rit. e dim.

⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕

a tempo *p* エ オ に

㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛

カ ほ キ

㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴

meno mosso *p* *cantabile* ケ

㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

ク

㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

コ dim. e rit.

【解答】

問1. ア 増1 度 イ 減5 度 ウ 減4 度 エ 長7 度 オ 短2 度
 カ 短7 度 キ 長3 度 ク 長2 度 ケ 減7 度 コ 増2 度

問2. 転回音程 (例:エとオ) カとク ケとコ 異名同音程 アとオ ウとキ

問3.	和音の種類	転回形	和音の種類	転回形
<u>い</u>	<u>減五短七の和音</u>	<u>基本形</u>	<u>ろ</u>	<u>長三和音 第1転回形</u>
<u>は</u>	<u>属七の和音</u>	<u>第3転回形</u>	<u>に</u>	<u>短三和音 第2転回形</u>
<u>ほ</u>	<u>短七の和音</u>	<u>第1転回形</u>		

問4. 

問5. 

問6. 663 Hz 問7. ①または③

問8. 平行調 問9. 27

問10. meno mosso それまでより遅く cantabile 歌うように

問11. ① D ② A ③ K ④ G ⑤ E ⑥ F ⑦ L

VI 聴音（旋律）

○作曲専攻作曲コース、器楽専攻ピアノコース

主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20 秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

旋律



○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース

主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20 秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

旋律



Ⅶ 聴音（2声）（作曲専攻作曲コース）

主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。

20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

2声

Ⅷ 聴音（4声）

○作曲専攻作曲コース、器楽専攻ピアノコース

最初に主音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

4声

○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース

最初に主音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

4声



Ⅸ 新曲視唱

○作曲専攻作曲コース、器楽専攻ピアノコース

予見時間は1分30秒。主和音及び、開始音を与える。

Moderato



○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース

予見時間は1分30秒。主和音及び、開始音を与える。

Moderato

The musical score is written for a single melodic line in 6/8 time, key of B-flat major. It consists of four staves of music. The first staff begins with a *mp* dynamic and features a long slur over the first six measures. The second staff has dynamics *mp*, *mf*, and *f* marked under different phrases. The third staff includes *mp* and *p* dynamics. The fourth staff starts with *mf*, reaches a *f* dynamic, and ends with a *mp* dynamic. The piece concludes with a double bar line.